

第三期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第1回）
議事要録

- 日時 平成25年08月22日（火）午後7時～9時
- 場所 クリーンセンター3F 見学者ホール
- 出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、高橋豊委員、早川峻委員、村井寿夫委員、塩澤誠一郎委員、藻谷征子委員、島英二委員、押元正樹委員、木村文委員、興梠信子委員、千綿澄子委員、島森和子委員、高石優委員、越智征夫委員、山崎君枝委員、岡田敬一委員、平田昭虎委員、新垣俊彦委員、金子和雄委員、木村浩委員
事務局（和地所長、三浦係長、馬場主査他）
事業者（荏原環境プラント 塚本副参事他）
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）傍聴者3名、記者0名
- 欠席 高橋健一委員
- 配布資料 1. 第三期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会の設置について、
2. 事業者提案説明書、3. 施設デザインコンセプト（案）

1. 委嘱状交付等、会長・副会長選出

- ・委嘱状の交付、第三期協議会からの新委員の挨拶、会長・副会長の選出が行われた。

2. 第三期施設・周辺整備協議会の設置について

- ・第三期施設・周辺整備協議会の設置の目的等について事務局から資料1の説明があった。

3. 建築デザインについて

- ・資料2について事業者である荏原環境プラントより、資料3について副会長より説明があった。

（以下、質疑）

- ・委員 デザインはすばらしい。武蔵野らしいというコンセプトも評価する。煙突については、耐久性が気になる。煙突の粉体塗装のアルミルーバーは、15年くらいたつと腐食が起きるのではないかと。他の材料も比較して検討を進めてほしい。煙突からの排気は、無風時には真下に落下するので注意してほしい。
- ・事業者 長期の使用についての安全性については確認しながら進めていく。既存の外筒を再利用するため、煙突に使用するルーバーは軽いものとする必要がある。内部の新しい煙突は、排ガスの流速が既存煙突よりも速く、近傍への落ち込みがないような設計としている。
- ・委員 壁面緑化は枯れている事例が多いが、本施設のルーバー間の壁面緑化は安定して育つものになるのか。ルーバーは地震の際に落下など生じないか。また、ガラスの多い箇所があると地震の時に心配である。
- ・市委員 煙突に使うルーバーは、腐食の無いように検討していく。耐震性能としては、通常よりも高い1.25倍としており、地震時への対応力を高めている。耐震天井についても配慮する。ガラスの面についても極端にすべてガラスの面としているわけではない。安全性についてはよく確認しながら進めていく。

- **事業者** 壁面緑化については、2年で5mほど育つような丈夫なものを選び育てていく予定をしている。
- **委員** 壁面緑化については、常緑系は重い雰囲気になったり、汚くなったりしてしまう。人が触れる部分、そうでない部分といったことも考慮して、1年草もところどころ入れるなどバリエーションを持たせるとよいのでは。
- **委員** 既存の煙突はデザインの決定までに当時様々な議論があったと聞いている。今回の新施設については、既にデザインが決まっているという印象を受ける。煙突のライトアップは本当に必要か。
- **会長** 本日提示された案は、事業者の提案段階のものであり、今後協議会でデザインを議論する場があるので、既にデザインが確定しているという訳ではない。
- **委員** 既存の煙突は、青い空と白い雲に調和する煙突となっているが、提案の煙突ではルーバーがついている点に違和感がある。煙突のライトアップも含め、近隣住民が受ける印象に配慮すべき。また、建物のガラス面の耐震性や掃除についてはどう考えているのか。
- **市委員** 第二期の協議会とりまとめた「いつでも人を感じるデザイン」というコンセプト中で、施設のライトアップを一つの手法として上げており、この点を要求水準書に盛り込み事業者に提案を求めている。ライトアップの機能はあっても使わないということも可能であるし、協議会の中で不要との結論になれば、つけなくてもよいとも考えている。ガラスのメンテナンスについては、20年間事業者が責任を持って行うのが原則であり、詳細は今後詰めていく。耐震、メンテナンスについては、次回の協議会で方向性を説明できればと思っている。煙突のデザインは今日頂いた意見を持ち帰り、再度協議会で議論したい。
- **会長** 煙突までのライトアップは不要かもしれない。そのあたりは議論・確認が必要。
- **委員** 煙突をライトアップしているのは、事業者が煙突をランドマークとしてとらえた結果だと考えている。煙突の捉え方次第でライトアップの必要性は変わってくる。煙突の姿が最も見える地区が緑町三丁目であり、その地区の住民の意見を聞く場を設けていくことを考えている。エコセンターと煙突を一体的にデザインするという考えには賛成である。煙突の足元が末広がりになっているが、この部分にルーバーがついていないがどのような意図か。この部分のデザインが重要だと考える。
- **委員** 既存では、見学で煙突内部に入ることができたように思うが、新しい施設でも可能か。煙突についている窓のようなものは何か。
- **事業者** 窓のようにみえるのは空気を抜くためのものであり、既存のものを残す。煙突内部の見学を行うことは現時点では想定していない。足元にルーバーを設置することは可能。メンテナンス扉の部分については開閉があるので扉部分にはルーバーをつけることは難しい。
- **会長** 煙突内部に入るのは難しいとのことだが、煙突には換気のための窓がついているといったような概念的なところが学べるような工夫があるとよいと考える。
- **副会長** 末広がりなのでコーナー部分の処理が技術的に難しいので今後検討が必要と考える。
- **委員** 煙突はいままで横ラインだったが、ルーバーは縦ラインでこの高さまでルーバーがあると存在感があり違和感がある。煙突についてはわざわざルーバーにこだわる必要はないのでは。むしろ、建物の壁面緑化に合わせた緑がデザインできないか。
- **会長** 下の方が末広がりとなっている。ここを緑化した方が違和感がなくなるような気もしている。

- ・委員 現状では、樹木やクラブハウスなどがあるので、煙突が見えるのは上部のみだが、今後は見え方も異なってくる。まずは、緑町3丁目の住民の意見を収集させてほしい。
- ・委員 建物と煙突のデザインに統一を持たせることは大事だが、緑町3丁目の人がどう受け止めるかが大事。煙突の上部と足元で印象は変わるので、そのことも踏まえつつ周辺住民の意見を取り入れて決めていくべきではないか。
- ・委員 新管理棟のデザインについてあまり触れられていないのでもう少し説明がほしい。
- ・市委員 協議会でも議論したガラス張りを踏襲しているが、クリーンセンターとごみ総合対策課が一緒になるようなことも考えているので、新管理棟の平面計画は検討中である。緑化の条例もあり、敷地周囲の緑化についても検討中で、イメージパースとは少し変更となる可能性がある。新管理棟の北側はストックヤードとなるが、緑化等で景観に配慮する。
- ・会長 この点についてもデザインを考える必要があるのでは。
- ・委員 北側駐車場部分については、並木を植えるよりも雑木林的にした方がよいのではないか。
- ・委員 新管理棟のボリュームが増えているように感じる。新管理棟にはコミュニティラウンジは計画されているか。
- ・市委員 新管理棟には見学者スペースとコミュニティラウンジも入っており、要求した室が計画されている。デッキ側にキッチンを備えたラウンジを計画している。新管理棟のボリュームについては、市の事務スペースのプランニングの関係もあり、現在検討中である。
- ・委員 北側の運動場側の通路については、安全面を考えるとライトアップが必要ではないか。
- ・会長 安全を確保するという観点から、ライトアップ、街灯の整備は検討した方がよい。
- ・委員 煙突は、目立たなくするか、シンボリックなものにするかという両方の考え方があると思うが、煙突にバルコニーを設けて渡り廊下とつなげてはどうか。煙突を木のイメージとして上部から植物を吊るなどの方法も一つの案としてあるのではないか。プラットホーム部分の見える窓が少し小さいような気がする。市役所側と体育館側のスカイラインにウェーブをかけるなど曲面を使う方法もあるのではないか。
- ・会長 事業者として、要求水準書、協議会の思いをくみ取って、凹凸のないデザインを考えてきたのだと思う。これまでの協議会での意見の積み上げもあるので、第三期の協議会でこれまでの議論を覆すわけにはいかない。ただ、雑木林のイメージとのことだが、煙突のルーバーの高さは高すぎるように感じる。2段程度でいいのではないか。上の方に少し見えるぐらいのまばらさにした方がよいのでは。全部上の方までルーバーを設置すると目立ちすぎてしまうようにも思う。本日は時間となったが、各自意見があれば別途事務局まで連絡をお願いしたい。

4. その他

- ・次回は9月24日（火）19時からとする。
- ・委員 7月に行われた地元説明会について、協議会でも結果を報告した方がよいのではないか。
- ・事務局 次回に概略の説明をさせていただく。

以上